

教育委員意見交換会

日 時 令和 7 年 6 月 30 日（月） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 45 分

場 所 堺市役所 高層館 10 階 教育委員室

出席者 関百合子教育長、豊岡敬委員、新谷奈津子委員、長田翼委員、大内秀之委員、中村善彦委員

（事務局） 櫻田浩樹教育次長

富岡重幸教育監

北野雅史教委総務部長

西尾朋章教委総務課長

渡邊耕太学校教育部長

松本展典学校保健体育課長

居谷達矢教育政策課長

杉本篤史教育政策課課長補佐

楠本奈央子教育政策課企画係長

案 件

- ・部活動地域連携・地域展開について
- ・8月補正予算（令和7年度堺市一般会計補正予算）について
- ・第1回総合教育会議について
- ・次期堺市教育振興基本計画について

・部活動地域連携・地域展開について

本市における部活動地域連携・地域展開の目的や取組の方向性、今後のスケジュール等について説明。

（主な意見）

- ・ 部活動の活動中は顧問が常時付き添う必要があるか。
 - 安全面の観点等から顧問もしくは部活動指導員が付き添う必要がある。生徒へ活動の指示を出した上で、一時的にその場を離れることはあるが、校内等にて常時対応可能な状態としている。
- ・ 平日の部活動の拠点化をすることで、一部競技等の部活数が現状より減少する想定だが、その理由は何か。
 - 拠点化する部活動は、部活動ごとに所属する生徒数から、必要となる部活動数を検討したもの。施設整備の観点等を考慮したものではない。
- ・ 拠点化した場合、毎日の平日の練習も拠点校で行うという想定なのか。
 - 拠点校での活動に慣れて、平日も拠点校で活動する想定である。
- ・ 部活動の入部者がいない場合にその部活を廃部するかの判断等には、どのくらいの期間を要するのか。
 - 入部希望の小学生や、中学1年生で入部した生徒が3年生まで活動できるかや保護者等への周知なども考えると少なくとも2、3年間は状況を見なければいけないと考えている。
- ・ 部活動地域連携・地域展開は教職員の働き方の観点等から良い流れだと思っている。堺市の良い取組を知ってもらうためにも、広くPRしてほしい。一方で、拠点校が遠いから入部を諦めるといったことがないようにする必要があること、また、人口の少ない部活へのサポートが必要であると感じた。
- ・ 堺市にはプロ野球の独立リーグのチームがあり、週末にこどもたちの野球指導を行っている。経済的な面でも地域の団体や大学等と連携し、専門性を持つ方が技術を活かせる場があるのはいいと思う。プロをめざす若い方などを活用し、人材育成につながればよいと思う。
 - 団体等との連携は意識して取り組んでおり、引き続き取組を進める。
- ・ 今後の主な課題と対応策の中に、制度的課題として指導者ライセンス制度導入や人材育成を記載しているが、現

時点ではどんなイメージでこれを進めていこうと考えているのか。

- 部活動の指導は、技術を教えるだけではなく、こどもの人権に寄り添った視点等に立って指導する必要があると考えており、指導者ライセンスの導入により、指導者の資質向上を図る必要があると考えている。そのため、指導者の資質向上のための研修等を実施する団体等と連携する必要があると考えている。また、人材バンクを活用し、退職した教員等を活用していきたい。
- ・ 部活動にやりがいを持ち、今後も部活動に携わっていききたいと思う教員もいると考えられるが、教職員の意欲を満たす部分と負担軽減との両立にどのように対応していくのか。
- 部活動指導員の必要数を計算する際に教職員アンケートを活用しており、部活動を教えていきたいと思う教職員には顧問として従事していただくという形で考えている。
- ・ これまでは学校単位で試合をしていたと思うが、拠点化すると拠点校単位での対戦になるのか。
- 拠点校単位での対戦になる。
- ・ 在籍する学校に希望する部活動がない場合に、こどもが自ら新しい部活を作ることとはできるのか。
- 新入生が新しい部活動の立ち上げを要望するような例もあるが、部活動には顧問が必要であり、顧問となる教員が不足していることや学校業務の多忙等の現状から考えると新しい部活動をつくることは難しい。
- ・ 部活動数が減ることで、こどもたちがスポーツ・文化に触れる機会が減ってしまわないようにしてほしい。
- スポーツ・文化に触れる体験に関しては、資源が限られている中で、部活動だけではなく教育課程内で行う体験活動の機会の充実なども合わせて考える必要がある。一方で、部活動の地域展開は国の方向性として進めることが確定している。指導員の確保に向けて、近隣地域や地元企業などどう連携するか検討する必要がある。
- ・ 部活動の地域連携・地域展開には、様々な意見等もあると思う。教職員の働き方改革の観点もあると思うが、対外的な説明方法等に工夫が必要と思う。
- 現在の部活動の状況や意義をしっかりと伝えたと上で、こどもが活動する機会や場所、指導者等の確保が必要であり、地域連携・地域展開をするという意義についても伝えていかなければならないと考えている。

・8月補正予算（令和7年度堺市一般会計補正予算）について

令和7年8月議会に提案を予定している補正予算案について報告。

（主な意見）

- ・ 特になし。

・第1回総合教育会議について

令和7年度第1回総合教育会議について、概要等を説明。

・次期堺市教育振興基本計画について

次期堺市教育振興基本計画について、懇話会の資料案及び策定に向けた今後のスケジュールについて説明。

（主な意見）

- ・ スケジュールで、12月にパブリックコメントの実施と記載があるが、毎回実施しているものなのか。
- プランの策定過程の中でパブリックコメントの実施は必須であるため、毎回1ヶ月程度の期間を設け、実施している。
- ・ 例えば、図書館の返却レシートにパブリックコメント募集のQRコード等を掲載するなど、サイレントマジョリティーやこどもの声を聞くことができるような工夫があれば良いと思う。